

book\_\_title

*author\_\_name*

*2016-12-30*



# Contents

|          |                        |          |
|----------|------------------------|----------|
| <b>1</b> | <b>book_title</b>      | <b>5</b> |
| 1.1      | 書籍ファイルの作成方法 . . . . .  | 5        |
| 1.2      | session info . . . . . | 6        |
| <b>2</b> | <b>章のタイトルをここに入力</b>    | <b>7</b> |
| <b>3</b> | <b>章のタイトル 2</b>        | <b>9</b> |
| 3.1      | 節見出し 1 . . . . .       | 9        |
| 3.2      | 節見出し 2 . . . . .       | 9        |



# Chapter 1

## book\_title

この Rmd ファイルを `bookdown::render_book("index.Rmd")` すると、自動的に製本 (?) します。

なお (私の考える限りで) 最小構成で作ってます。実際に作ろうと思うなら、本家ドキュメントを参照してください。

以下は説明用の文章を貼り付けてます。実際には削除してください。

不明な点があれば、Twitter の (?) (<https://twitter.com/kazutan>) もしくはこのリポジトリの issue, あるいは r-wakalang の rmarkdown のチャンネルまでおねがいします。

## 1.1 書籍ファイルの作成方法

### 1.1.1 必要なパッケージ, 環境など

Knitr, rmarkdown, bookdown のパッケージがデータのレンダリングに必要です。また pandoc の新しいのが必要で、面倒でしたら RStudio の最新版をインストールしてください (内包してます)。ggplot2 逆引き記事内にて使用するパッケージも必要となります。おそらく ggplot2 パッケージぐらいで大丈夫だと思いますが、面倒でしたら tidyverse パッケージを導入してください。これをインストールすると Hadleyverse なパッケージ群が自動的にインストールされます。もし pdf book を作りたいのであれば、マシンに tex 環境が必要です。日本語のフォントに IPA フォントを指定していますので、以下からダウンロードしてください。

<http://ipafont.ipa.go.jp/>

また、bookdown は utf-8 しか受け付けません。そのため windows ではうまく動かないかもしれません (未検証)。もし何かありましたら issue なり kazutan までご連絡ください。

私の作業環境 (動作確認環境) は、最後にまとめて表示しています。

### 1.1.2 Download

git clone して持ってくるか、右側の Download Zip で持ってきてください:

```
$ git clone git@github.com:kazutan/bookdown_ja-template.git
```

### 1.1.3 レンダリング (本のファイル作成)

#### 1.1.3.1 種類

- gitbook 形式: 以下のコードを実行

```
bookdown::render_book("index.Rmd", output_format = "bookdown::gitbook")
```

- epub 形式: 以下のコードを実行

```
bookdown::render_book("index.Rmd", output_format = "bookdown::epub_book")
```

- pdf 形式: 以下のコードを実行

```
bookdown::render_book("index.Rmd", output_format = "bookdown::pdf_book")
```

RStudio を利用しているなら, Build パネルで Build Book から選択してください。もし Build タブが RStudio で表示されない場合, 一度 RStudio を終了させてもう一度開いてください。

#### 1.1.4 生成物の場所

生成物は, \_book ディレクトリに置かれるように設定してます。 .epub と .pdf は単独ファイルで, それ以外は gitbook 形式のファイルとなります。

## 1.2 session info

R version 3.3.2 (2016-10-31)

Platform: x86\_64-apple-darwin13.4.0 (64-bit)

Running under: OS X El Capitan 10.11.6

locale:

```
[1] ja_JP.UTF-8/ja_JP.UTF-8/ja_JP.UTF-8/C/ja_JP.UTF-8/ja_JP.UTF-8
```

attached base packages:

```
[1] stats      graphics  grDevices  utils      datasets  methods   base
```

loaded via a namespace (and not attached):

```
[1] backports_1.0.4 bookdown_0.3   magrittr_1.5   rprojroot_1.1  htmltools_0.3.5
[6] tools_3.3.2     yaml_2.1.14   Rcpp_0.12.8    stringi_1.1.2   rmarkdown_1.3
[11] knitr_1.15.1    stringr_1.1.0  digest_0.6.10  evaluate_0.10
```

## Chapter 2

# 章のタイトルをここに入力

進捗どうですか？

適当に編集してください。

R Markdown and **knitr** (Xie, 2015).





## Chapter 3

# 章のタイトル 2

進捗どうですか？

### 3.1 節見出し 1

ほげほげ

### 3.2 節見出し 2

ふがふが



# Bibliography

Xie, Y. (2015). *Dynamic Documents with R and knitr*. Chapman and Hall/CRC, Boca Raton, Florida, 2nd edition. ISBN 978-1498716963.